ゼンターリで害虫をお腹から退治！

BT剤は食毒性で、チョウ目幼虫に効果

BT剤って・・・？

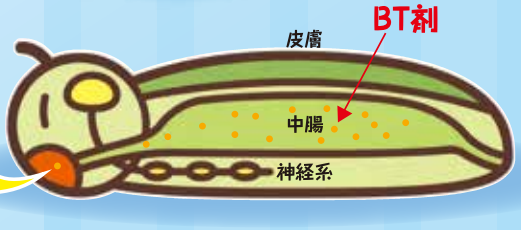
天敵微生物を利用した生物農薬の一種で、土壌細菌の一種バチルス・チューリンゲンシスの生芽胞及び産生結晶タンパク質を主成分とした殺虫剤の総称です。

チョウ目（鱗翅目）の幼虫が葉とともに●ゼンターリの有効成分（殺虫性タンパク質）を食べる。

中腸内のアルカリ条件で殺虫性タンパク質が活性化し、消化管内のレセプターと結合して細胞を破壊する。

幼虫は衰弱、あるいは敗血症により死亡する。

5種類の殺虫性タンパク質を口から摂取!!



コナガの防除に

ゼンターリ® 顆粒水和剤

▼コナガ拡大写真

ゼンターリ®の特長

●幅広い作物に適用

野菜類、果樹類、豆類（種実）、茶、とうもろこし、きく、カーネーションなどに登録があります

●チョウ目害虫に効果

コナガ、オオタバコガを含め難防除のハスモンヨトウやヨトウムシにも有効です

●有機農産物生産に使用可能

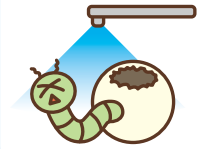
改正JAS法に基づく有機農産物の生産に使用できます

ゼンターリ®の上手な使い方

3つのポイントでしっかり防除

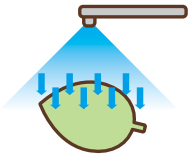
1 発生初期、若齢幼虫期に散布

幼虫に効果を発揮するので、害虫の発生初期や若齢幼虫期に散布してください



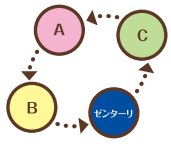
2 かけムラがないように散布

浸透移行性がないので、かけムラにならないようていねいに散布してください



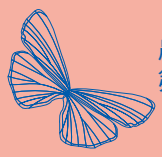
3 ローテーション散布に使用

系統の異なる薬剤のローテーション散布の1剤として使用してください



ゼンターリはVALENT BIOSCIENCES LLCの登録商標

BT剤の流れを変える



農林水産省登録
第１９６１６号

ゼンターリ® 顆粒水和剤［アイザワイ系BT剤］

有効成分：バチルス チューリンゲンシス菌の生芽胞及び産生結晶毒素…10.0%
（力価として1,000B.m.z単位/mg）

■適用害虫と使用方法（2017年9月現在）

作物名	適用害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	BTを含む農薬の総使用回数
はくさい	アオムシ	2,000倍	100～300ℓ/10a	発生初期 但し、 収穫前日まで	－	散 布	－
野菜類 （はくさいを除く）	コナガ ヨトウムシ	1,000～ 2,000倍					
	オオタバコガ シロイチモジヨトウ ハスモンヨトウ	1,000倍					
うり科野菜類	ウリノメイガ						
パセリ	キアゲハ						
いも類 豆類（種実）	ハスモンヨトウ						
からしな（種子）	アオムシ コナガ ヨトウムシ	1,000～ 2,000倍					
えんどうまめ さやえんどう 実えんどう	ウリノメイガ	1,000倍					
ふじまめ	シロイチモジマダラメイガ						
しょくようほおずき	タバコガ						
とうもろこし	オオタバコガ						
果 樹 類	ハマキムシ類		200～700ℓ/10a				
そば	ハスモンヨトウ	2,000倍	100～300ℓ/10a				
あわ	アワノメイガ						
ひえ							
えごま（種子）	ベニフキノメイガ	1,000倍					
しいたけ	シイタケオオヒロズコガ	200倍		種菌接種前		形成種菌のふたに塗布	
		1,000倍		害虫発生初期 但し、しいたけ発生の14日前まで		散 布	
茶	チャノコカクモンハマキ チャハマキ ヨモギエダシャク		200～400ℓ/10a	発生初期 但し、 摘採7日前まで			
きく	ハスモンヨトウ		100～300ℓ/10a	発生初期			
ストック	コナガ						
カーネーション	ハスモンヨトウ						
樹木類	ケムシ類		200～700ℓ/10a				
芝	スジキリヨトウ シバツトガ	1,000～ 2,000倍	300mℓ/m²				
	タマナヤガ	1,000倍					

⚠安全使用上の注意〈抜粋〉

- ●蚕に対して毒性があるので、養蚕主要県その他主要養蚕地帯および養蚕農家、共同飼育場等の周辺では施用しないでください。またこれら以外の場所でも付近に桑園がある場合は飛散してかからないよう風向等に十分注意して散布してください。なお、本剤の使用に当っては散布地域の使用制限に従ってください。
- ●マメコバチの活動に影響を及ぼすおそれがあるので注意してください。
- ●ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意してください。
  - ・ミツバチの巣箱およびその周辺にかからないようにしてください。
  - ・受粉促進を目的としてミツバチ等を放飼中の施設や果樹園等では使用をさけてください。
  - ・関係機関（都道府県の農薬指導部局や地域の農業団体等）に対して、周辺で養蜂が行われているかを確認し、養蜂が行われている場合は、関係機関へ農薬使用に係る情報を提供し、ミツバチの危害防止に努めてください。
- ●散布液は十分かきまぜて調製し、そのまま放置せず、できるだけ速やかに散布してください。
- ●使用に当っては展着剤を加用することが望ましい。
- ●石灰硫黄合剤、ボルドー液などの農薬及びアルカリ性の強い葉面散布施用の肥料などとの混用はさけてください。
- ●本剤は若齢幼虫に有効なので、若齢幼虫期に時期を失しないように散布してください。
- ●本剤は眼に対して刺激性があるので、眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。
- ●本剤は皮膚に対して刺激性があるので、皮膚に付着しないよう注意してください。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落としてください。
- ●使用の際は農薬用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣等を着用し、作業後は直ちに手足、顔等を石けんでよく洗い、洗眼、うがいをするとともに衣服を交換してください。
- ●はくさいに対しては薬害を生じるおそれがありますので、所定の希釈濃度を厳守してください。また品種によっては薬害を生じるおそれがありますので結球期以降の散布には注意してください。
- ●カーネーションに使用する際は、薬液の付着により葉のワックス層が溶脱する場合があるので、収穫間際の散布はさけてください。
- ●本剤の使用に当っては、使用量、使用時期及び使用方法を誤らないように注意し、適用作物群に属する作物またはその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、普及指導センター、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

⚠保管

- ●直射日光をさけ、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管してください。

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●小児の手の届く所には置かないでください。●空袋・空容器は圃場に放置せず適切に処理してください。

29H10J17Z11:Z

2017年10月作成（全農教）

大地のめぐみ、まっすぐ人へ SCG GROUP
住友化学
〒104-8260 東京都中央区新川2丁目27番1号
お客様相談室 0570-058-669
農業支援サイト i-農力 https://www.i-nouryoku.com